

第 17 回 ERFC 清里ミーティング報告号

清里ミーティングへのご参加ありがとうございました

今年も E.R.F.C.は、ほとんど唯一の行事となってしまう清里ミーティングを、おかげさまで無事に終了することができました。参加されたみなさんは楽しんでいただけたでしょうか？ぼくは今年も久しぶりにお会いした方々とちょっとずつ言葉を交わし、ゲストの山口さんのロードスターとトライアスロン？なおもしろいお話を聞いて、かなり楽しんできました。



ここんといろんな意味でけっこうバタバタした毎日を経過して、前日もスタッフのみんなが早くから準備してるのに、ぼくは夜遅くに濃霧のなかを現地入りしたんですが、当日会場でいつもと変わらずたくさんの方がいらっしゃっているのを見て改めて「清里ミーティングはこーゆー人たちに支えられてるんだなあ」と実感しつつ、ちょっとホッとしたような、久しぶりにゆるやかな気持ちになりました。参加されたみなさん、ゲストのみなさん、本当にありがとうございました。

そうそう、11月11日にまた八ヶ岳方面に出かけたんですが、清泉寮では外でソフトクリーム食べるのをあきらめるくらい寒かったです。清里ミーティングからたった2週間なのに、ちょうど急激に寒くなる時期なんではないでしょうか。また来年も暖かい清里でお会いしたいですね。

E.R.F.C.会長：ひでまる (No. 590)

イベント報告

～以下はスタッフによるイベント報告。まずは午前の講演の模様から～

毎年、清里ミーティングを開催するにあたって、一番頭を悩ますと言っているくらいなのが、お招きするゲストです。ある程度はコチラからもマツダ側へ、早めに要望を打診したりするのですが、そこはお仕事のご都合などもあり、直前までナカナカ調整がうまくいくものではありません。実際過去にも開催1週間前になっ



でもゲストが決まらない!? なんて大ピンチなこともあったくらいで、毎年秋になると渉外担当としてはヤキモキして過ごしております。

今年は幸いにも比較的早くからマツダからのゲストが決まり、プログラム開発推進本部 第2プログラム開発推進室プロジェクトマネージャーの山口宗則さんと、ボデー開発部 ドアリッド開発グループの松延知昭さんにお越しいただきました。

山口さんは、NA8C から NC までの開発に携っており、ロードスター、そしてスポーツカー開発のスペシャリスト。世界中のイベントや出張など多忙を極める主査の貴島さんが不在中などにも、開発進行など開発全体のサポート役を勤め、いわば女房役とでも言っている存在です。

松延さんは、マツダきっての屋根のエンジニア。発売後の予想以上の!? 高い支持を得ている NC の電動ルーフ「RHT」の開発者であり、これまでもボンゴフレンディのオートフリートップや、NB3 から追加されたクロス調ソフトトップを手がけるなど、「マツダの屋根屋」なる異名!? をもつスペシャリストです。

今年の話題の中心はやはり RHT に集中しました。ロードスター乗り、あるいはそのファンの間でも物議を醸した RHT、フタを開けてみれば、全世界中からのオーダーが集中して、生産キャパをはるかに超えるオーダーが入っているのはご存知の通りです。しかし、その開発は決して

平坦なモノではなかったようで、まさにプロジェクトX並み!? の苦労話を語っていただきました。

RHT の企画がスタートしたのは NC の開発プロジェクトがスタートするよりもずっと以前のこと。NB2 をベースにした、まるでヘルメット!? のような試作車のマル秘画像などを交えつつ、マツダ社内でも開発トップからの企画自体の否定からはじまり、逆境の中から始まりながらも、RHT をまとめあげた興味深いお話をさせていました。

何をかくそう、この場にいた山口さんご自身も開発当初は否定派だったお一人。しかし彼のひたむきな開発姿勢は「マツダきってのエンジニア」と言わしめるほどであり、同時開発でなければ RHT の誕生はなかったと振りかえっていました。

さて、話しは少し外れますが、山口さんは知る人ぞ知るアスリートであり、全国で開催されるトライアスロンにも出場されるほどのお方。

「せっかく清里へ行くなら高地トレーニングが出来そうだから走るところはありますか?」なんてコト話しも事前に確認があったとか、なかったとか!?

実際イベント前日に清里入りした夜と当日の朝には、キッチンと1時間程度のマラソンをこなすほど。不健康かつ不摂生な生活を繰り返しているスタッフも少しは見習わなければと思う出来事でありました。



さて、そんなアスリート経験を経た山口さんの「ロードスター(スポーツカー)とトライアスロンの関係」は、2時間という短い講演ではとても伝えきれなかったため、このお話の続きは、機会が許されればまた来年へのお楽しみ…としてとっておこうかと思えます。来年の清里ミーティングも是非とも楽しみにしててください。

(タカネ)

○なんでもコンテスト「10月のなんコンは集まりがいいな」

清里ミーティングに参加の皆様、お疲れ様でした。今年は暖かったですねえ。という言葉が合言葉になるほど暖かでしたから、よほど普段とは違う陽気だったということなのかもしれません。まあ寒いよりは歓迎ですから言うことなしですよ。

そしてなんコンに参加の皆様、お疲れ様でした。暖かいことが影響したのか？今年のなんコンは全9点と盛況な参加をいただきました。清里ミーティングのときにいつも会場の右側にある机の上が、とても広く感じられてしまうよ

うでは寂しいですよ。今回は常連な皆様に加えて新たに参加いただいた方もいて、担当者として

はNCのRHTの受注のように、この勢いで参加点数が増えていくとこの上なく嬉しいのですが(汗)。

さて、今年の参加者と作品は・・・



- | | | |
|--------|--------|-----------------------------|
| 1：長野県 | 松井功一さん | 2006年富士チャンピオンレース参戦記 |
| 2：東京都 | 松浦友哉さん | 松浦家の惨劇 |
| 3：山梨県 | 森本真至さん | ロードスターとともに |
| 4：千葉県 | 駒場利明さん | 松浦友哉くん公認 ジャンケン大王携帯ストラップ |
| 5：奈良県 | 粕本源裕さん | 歳をとったな・・・ |
| 6：神奈川県 | 青木友和さん | Lots of Fun 友達グルマの8つの楽しみ |
| 7：長野県 | 林 光弘さん | september 1989 Eunós ロードスター |
| 8：静岡県 | 瀬戸国和さん | 幌の張替えレポート |
| 9：静岡県 | 榊原 真さん | ロードスター DIY オールペイント |

の9点です。絵画や模型、書から愛車との徒然日記、そしてちょっと狙ったか？という作品まで、ロードスターをどう楽しむかと言う点において、参加者の愛情があふれた作品がそろいました。

その中でまず3位に入ったのは、エントリーナンバー5番の粕本源裕さんの「歳をとったな・・・」というロードスターの模型を使ったジオラマ仕立ての作品。黄色いNAの模型の前に新しいNCの看板を置いて、タイトルどおりの言葉を形にしてみた、というところでしょうか。毎回ロードスターのプラモデルを使って、いろいろな表現



を見せている粕本さんならではの作品というところでしょうか。

2位はエントリーナンバー3番、森本真至さんの「ロードスターとともに」というNBをモチーフにしたイラストです。森本さんのNBロードスターへの想いを絵にして表現したものとか。



陽だまりと緑の中にたたずむNBの姿は、まるで絵本の一ページを見ているようで心が和みます。去年はNC、そして今年はNBですから、来年はNAに期待です。2年連続2位を越えて、NAならば優勝を狙えるロードスターへの熱き想いをたかちにしてくれることでしょう。



さて、2006年のなんコン第1位は、エントリーナンバー6番、毎年「書」でロードスターへの想いを描いてくれる青木友和さんの「Lots of FUN 友達クルマの8つの楽しみ」です。や～優勝に返り咲きですね。NCのテーマとして貴島主査が提唱した「Lot of FUN」、そして福田さんの掲げた「友達クルマの8つの楽しみ」である「走る」「操る」「いじる」「集める」「集まる」「語る」「染まる」「極める」を自分なりに解釈して「書」で表現したものとのこと。小さな額に飾られたそれらは、書をまるでわからない私でも何かをはっきりと主張しているのだな、と感じさせられるものがありました。そうしたところが参加者の共感を得ることが出

来たのではないのでしょうか。青木さんが語る「三部作」もこれにて完成のとのこと。次回はどのようにして、ロードスターへの想いを表してくれるのか、お手並み拝見というところですね。

今回もこのようにいろいろバラエティにあふれた作品が集まりました。毎年毎年、皆さんのロードスターへの想いを形にした作品の情熱には頭が下がります。年を重ねるほどにいろいろな想いもいろいろな形で表現することが、楽しくなっていくのだなというのが正直な感想です。来年もまた、こうした作品で、会場をいっぱいにしてくださいね～そんな皆さんのご参加をお待ちしております。



あ、駒場さん。このジャンケン大王ストラップ。いっそ清里限定商品にしましょうか（笑）。笑えましたよ～。

ふじい@尾張屋

○スワップミート

地味ながら毎年好評のスワップミート。近年人気なのはスタッフK氏のコレクションの放出品。今年も、お得意さんから早々のまとめ買いがありました。昔のカタログやミニカーなど値段もお手ごろなのがウケる理由のようです。一方でパーツの出品が少なくなった気がします。買ってそのまま、あっさり乗る方も増えているのでしょうか。RHTが人気なのも同様な理由からかもしれませんね。

ERFCショップでは、スタッフの家から偶然発見された？デッドストックのMX-5ポスターが今年の見玉でした。売り切る予定で200円としたのですが、一人2枚平均で買っていただいたのかかわらず、目標には届かず。来年へ持ち越しです。しかしナンバープレートカバーと帽子は完売しました。ありがとうございました。



（スワップ＆ERFCショップ担当）

○駐車場から ～その1～

駐車場係の前田です。駐車場係にとって天気の良い悪しはとても重要です。今年の天気もホントにヤキモキしました。

前日までの天気予報もあまりパツとしなかったし、当日朝も霧でまっ白。正直、雨が降らなきゃ良いとしようと思ってました。しかし、実際には太陽が顔を出すほどのよい天気。その時点で私の中でミーティングは「大成功」。清泉寮を訪れていた観光客からの質問も例年になく多く、みなさんの愛車を見守りながらの対応が大変でした(嬉しい悲鳴ともいう)。

久しぶりに「草原でのお弁当」風景を見てとても嬉しくなりました。また来年も、今年と同じ風景を見られますように…。

(まえだ)



○駐車場から ～その2～(今年は RHT 説明員?)

駐車場係……もとい今回は RHT にわか説明員のいわいです。

懸念の天気も会場入り口に下がっていた大型てるてる坊主の神通力により、ソフトクリームが余計に美味しく感じる暖かく過ごしやすい一日になりました。

今年は天気がよかったこともあり、一般のお客さんの目にもよくとまるようで Q&A タイムになることもしばしば。さらにはマツダからお借りした NR-A と RHT を参加者以上に興味津々で見ている方も。

何回もトップ開け閉めして説明をすることに。おかげさまで RHT には詳しくなりました。今年は特に「やっぱりみんな機会があればロードスターに乗ってみたいのね」と思うところのあった一日



でした。RHT、人気になるのもうなずけます。

また来年、みなさまとお会いできるのを楽しみにしております。

……ところでその RHT、スタッフの奥様方のみならず福田さんの奥様まで「これいいわ～」と言わせてしまう強烈な力があるようです。(^^;;

(いわい)

○受付（に秘密兵器あり?!）

受付担当のつのがやまです。今回はちょっと新趣向があったために、受付でもバタバタしてしまい、ご迷惑をおかけしました。今年は10月開催ということで朝でもさほど冷え込まずにすみしましたね。日ざしもたっぷりで、ご参加の皆様にも快適に過ごしていただけたのではないのでしょうか。

実は前夜の清里は雨！しかもかなり強い降りで、どうなることかとスタッフ一同気をもんだのですが、結果はご存知の通り。

と言うのもワタシたちにはひみつ兵器があったのです。会場入り口に下がっていた超大型「てるてるぼうず」がそれ。見事に結果を出してくれました。

このてるてる君、実はスタッフの息子さん(6歳)の作。朝の受付で、皆さんにお土産をお渡ししていた可愛い少年こそ、今年のミーティングに太陽をもたらしてくれた殊勲者でありました。

というわけで来年のミーティングもお天気の心配は不要です！ 明るい秋の青空の下でまたお会いできますように！



(つのがやまけいこ)

○お弁当

お弁当担当さっちゃんです。当日の夜中に自宅を出た時の雨の降り具合に「今年の清里は冷たい雨？」と思って明け方到着したら予想に反して「一寸先は霧」状態。その霧も太陽の輝きだす時刻にはすっかり晴れ、美しい八ヶ岳の山々を手取るようにはっきり望める素晴らしい日になりました。

それもこれも参加者の皆様の日ごろの行いのたまものでしょうね、感謝です！息子虎太郎と受付のお手伝いが済むと（お土産です♪って渡していたのが自称スタッフの息子です）あとはお弁当の到着を待ち、温かいお茶と共に皆様の手に渡すまでが私の仕事、緊張が高まるどころです。

とまあ、こう書くとすごく神経をすり減らしてお弁当を待ってるかと誤解されそうですが、優雅に山々を眺めつつ、美味しい空気を吸い込んだりして結構のどかに楽しんでいるのです。そしていよいよお弁当配り。手渡したお弁当の重みと、受け取ってくれた相手の笑顔。そして「今年も楽しみにしてたんだ」の言





葉。嬉しい気持ちで胸がいっぱいになっていく感じでした。やはりお日さまと絶景に勝るスパイスはありませんね！

来年もこんな絶景のもとで皆さんにお会いしたい！やっぱり今年もそう思うのです。来年も。ぜひ清里でお会いしましょう！

(さっちゃん)

○タンザニアとジャンケンとトロントと・・・

とにかく天気がよくて何よりでした。誰だったか忘れましたが、古株スタッフや一部リピータの方から「寒いくらいの方が清里ミーティングらしい雰囲気になる」なんていう声も聞こえていました。何をおっしゃいますか！秋晴れの清里のきれいなこと、気持ちのよいこと。天気がよくて、景色がよくて、、、久しぶりに「清里の底力！？」を見た気がしました。

さて、今年も遥かアフリカはタンザニアから、コーヒー、紅茶、そして数々のお土産が届きました。皆さんご堪能いただけましたでしょうか？特にコーヒーなんて、スタッフがドリップマシンを3台運び込んで、皆さんに淹れたてを振舞っていたのです。しかも豆はタンザニアからサイタマに空輸され、その後ロードスターに乗って清里まで来てるんですよ！おいしくないわけがない！（ですよ？）残念、飲んでない！という方は、是非悔やんでください。

そして何より、タンザニアでコンピュータや停電？と格闘している三木さん、本当にありがとうございました。来年は久方ぶりにご本人登場でしょうか？ぜひ「一番面白いお土産話」を持ってきたくださいね！

ところで、毎年毎年、じゃんけんに勝てなくて悔やんでいるあなた、その君！こういうのがあるのをご存知ですか？

「世界じゃんけん協会」！



カナダはトロントに本部があるこの協会（World RPS Society）、5回目の世界大会を開いたそうです。ところが、残念なことに、日本からの参加者はいない・・・おやおや。

そう、悔やんで落ち込んで愚痴こぼしてるだけのあなた！まずはこの大会で優勝狙うなんてのはどうですか？

Web サイトはこちら

<http://www.worldrps.com/>

ちなみに優勝賞金は10,000カナダドル。ざっと1,000,000円！これを頭金にしてRHT買うか？

・・・

話がそれました。そうそう、例年はショップの皆さんの出店時間に買い物できないことが多いのですが、今年は幸運にもナカマエさんの品物をいくつか特価で（中前さんは八尾のオッチャンって



感じでステキでした！)、デルタツーリングさん（毎年ありがとうございます）のドライブクッションも売り切れ寸前に特価で、あとRCOJさん（水落さん、いつも大変お世話になっております）で小さなパーツをひとつやっぱり特価で入手できました。これでまた、17年経っても初心者の会？のネタが作れます！やったあ。

まあそんなわけで（笑）、今年も、毎年同じようなでも毎年ちょっとずつ違う気もする清里ミーティングになってたらよかったなあ、と思っております。ぜひ、ご感想やご意見をお聞かせください。

そして最後にこっそり、スタッフとして参加して17回を数えた自分（と相方と仲間たち）に万歳三唱！（17年かあ・・・歳とるわけだ、とほほ。）

（つのやまけいいち）

実行委員長の憂鬱（編集後記に換えて）

私が実行委員長を務めるようになって今回でもう6回目。

清里ミーティング直前には毎年思うんですよ。準備が遅れてる！ゲストも本当に来てもらえるの？！天候も心配！こんな様子で清里ミーティングの開催はできるの？！・・・って。

でも、今年も多くの皆さんのご参加・ご協力のもと、無事に開催することができました。ありがとうございました。

そして清里ミーティングが終わると毎年思うんですよ。今年の段取りはどうだった？楽しんでもらえたのかな？なんであしなかったんだろう？こんなんで来年もやれるのか？！いや、いっそ来年は・・・って。

こんな想いが交錯する中、毎年イベントを行う原動力ってなんでしょう。ロードスターを集めることの満足感？イベントを途切れさせないための義務感？はたまた常連の皆さんからの無言の圧力？（おいおい）

いやいや、きっとそんな理屈はどうでもいいんです。我々スタッフは好きなんです。ロードスターが。それを愛する皆さんが。そして清里ミーティングそのものが。

だからこそ私たちスタッフはロードスターのために、そして参加してくださる皆さんに楽しんでもらえるイベントにするためにそれぞれができる範囲でやっているだけです。ただ、いかんせん所詮は年に一度の素人の企画。今年もまた企画にもスタッフにも充分に行き届かないところがあったかもしれません。

今年の内容はいかがでしたか？つのやまさんも書いてますが、どうぞ皆さんの「もっとこうして欲しい」とか「ここはどうにかならないか」と言う素直な感想や意見を聞かせてください。なにぶんボランティアなので必ずしもお応えできるかどうかはわかりませんが、来年のイベントをよりよくするための参考とさせていただければと思います。

そしてそんな清里ミーティングですが、また来年もご参加いただければ、とスタッフ一同願っています。

あ。次回開催は2007年10月28日を予定しています。是非また来年も清里でお会いしましょう！

（清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当：No.529 まめぞう）



ERFC Newsletter

ユースロードスターファンクラブ通信

2006 Vol.3

2006年 12月10日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局；埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: http://erfc.sakura.ne.jp